

スマートテクノロジー及びスポーツとエンターテインメントの経験・環境イノベーションを特徴とする民設民営の多目的ベニュー

座席は最大100,000人まで拡張可能、2028年オリンピックの開閉会式で使用予定

施設及び事業の概要

| | |
|----------|---|
| 所在地 | 米国カリフォルニア州イングルウッド |
| 開業年 | 2020年 |
| 収容人員 | 固定席70,000（最大100,000席まで収容可能） |
| 付帯施設 | プレミアムクラブ12か所、プライベートラグジュアリースイート260室 エンドゾーン及びコンコースデッキ 飲食店舗、物品販売店舗 American Airlines プラザ及びYouTubeシアター（6,000人収容） |
| ホームチーム | Los Angeles Rams (NFL) Los Angeles Chargers (NFL) |
| 開発のスタイル | ハリウッドパークスポーツ&エンターテイメント地区（ハリウッドパーク競馬場跡地）の中心的施設として建設 |
| 資金調達概要 | ・Kroenke Sports & Entertainmentグループにより民間資金で開発 |
| 周辺地域への効果 | ・イングルウッド市の再開発及び再活性化 ・コミュニティの資産及び公園 ・国際・地域・コミュニティ用途に広さの調整が可能なイベント・活動スペース |

湖から見たスタジアム
(American Airlinesプラザ、YouTubeシアターも同じ屋根の下に)



Photo Courtesy of HKS

スタジアム入口



Photo Courtesy of HKS

世界最大のディスプレイ

- フィールド上には、世界で最も大型で高い解像度の4Kスクリーンを配置。両面ディスプレイで260以上のスピーカーが内蔵されており、5つの階に設置されたLEDリボンボードとともに、観客の没入感を高めている。

Googleとの連携

- Googleのクラウドサービスを298エーカーのハリウッドパーク全体のデータやコンテンツに利用。スポーツとエンターテインメントのコンテンツ及び情報のリアルタイム追跡が可能に。
- また、ハリウッドパークとして高度なデータ分析（複数の情報源から収集した情報の保存・分析、主なパフォーマンス指標の追跡、出席者や製品別売上の予測精度向上など）が可能に。

Cisco社との連携

- スポーツ施設としては最大規模のWi-Fi6導入（2,500台以上のアクセスポイント）
- 本施設を含むハリウッドパーク全体をCisco社のネットワークがカバーし、サイネージ及びディスプレイを含め、全て同社のネットワークに繋がっている。

デジタルツイン技術の導入

- デジタルツイン技術*が導入されており、施設運営の増強と支援に利用。
- 効率性向上とリスク管理のため、リアルタイムでビッグデータの収集・分析が可能に、当該技術を導入した全米初のベニュー

*デジタルツインとは、実在する建物のデータを用いて仮想空間上にその建物のコピーを構築する技術で、建物や都市インフラの運用・保守管理の最適化等に活用されることが期待されている。

(出所：HKS Inc.への質問票及びインタビュー調査、SoFiスタジアムウェブページ
<https://www.sofistadium.com/>)

座席・フィールドと楕円形のビデオスクリーン



Photo Courtesy of HKS

臨場感あふれるフィールドレベルでの観戦環境



Photo Courtesy of HKS